

2024 CSR報告書 カンボプラス

CSR: Corporate Social Responsibility

新しい価値の創造を通じて、
豊かな社会づくりに貢献します。



企業理念

カンボウプラスは
新しい価値の創造を通じて
豊かな社会づくりに貢献します。

CSR基本方針

カンボウプラスは「社会との共生」、「お客様との共生」、「従業員との共生」を目指し、メーカーの責務として、環境に配慮し、お客様のニーズに応えた安全で高品質な製品の提供を通じて社会に貢献します。

CONTENTS

トップメッセージ	2
社会とのかかわり	3
環境とのかかわり	8
その他のかかわり	12

カンボウプラスの概要

代表者	代表取締役社長 中村信治
設立	1939年3月24日
資本金	10億2,030万円
決算月	3月
従業員	159人
主要事業	1. ファイバー（繊維）とプラスチック（樹脂）の複合化によるキャンバスの製造と販売 2. キャンバスをデザイン・設計・縫製した製品の販売 3. 一級建築士事務所 建築物・工作物の設計・施工
事業所	本社、東京支店、福井工場
外部認証	福井工場 ISO9001、ISO14001

「新加」するカンボウプラス ～創立85周年を迎えて～

1939年に設立したカンボウプラスは、おかげさまで創立85周年を迎えました。

「新加（シンカ）」とは進化でも深化でもなく、新しく加えるという意味の「新加」です。当社は85年の歴史の中で、「新」市場・「新」商品・「新」技術・「新」設備など、様々なモノ・コトを「加」え続け、お客様と共に持続的に成長してきました。

これもひとえにご支援いただきました皆様のおかげだと思っております。誠にありがとうございます。

地球温暖化対策として脱炭素の取り組みが求められる昨今、CO₂排出量削減を目標に、照明のLED化、省エネ設備の導入、カーボンフリー電力の活用など様々な活動を実施しております。また、昨年度からは放射冷却素材「SPACECOOL」を用いたシートの量産販売を開始しました。本素材は、直射日光下で太陽光と大気からの熱をブロックし熱吸収を抑えるだけでなく、宇宙に熱を逃がすことができる膜材料です。2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）において一般社団法人日本ガス協会様が出展するガスパビリオンに採用され、ゼロエネルギーで冷却し、空調負荷を軽減した低炭素化に貢献します。

これからもカンボウプラスは「社会との共生」、「お客様との共生」、「従業員との共生」を目指し、製造メーカーの責務として環境に配慮しお客様のニーズに応えた安全で高品質な製品の提供を通じて社会に貢献してまいります。

このたび2023年度の活動をまとめた「2024CSR報告書」を発行いたしました。皆様の忌憚のないご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

代表取締役社長 **中村信治**



■ 当社商品のご紹介

当社では、環境に優しい商品、災害時に役に立つ商品の開発、販売に力を入れています。ここでは、一部を紹介します。また新商品開発、HP刷新、ECサイト開設、DtoCブランドにも取り組んでいます。

■ 災害現場でも活躍。「インスタントハウス」



外装がターポリン生地、内装がウレタン発泡材で構成されている「インスタントハウス」は、短時間での完工、どこにでも設置が可能、快適性が特徴の製品です。扉や窓といったオプションをはじめ、色や形状のバリエーションもカスタマイズが可能です。

アウトドア以外にも、災害時の仮設住宅・避難所としての利用・設置が可能です。2024年1月の能登半島地震では、珠洲市を始めとして各地の避難所に設置しました。仮設住宅の代わりのみならず、避難住民の交流・話し合いの場などにも利用されることで、人と人とのつながりの中心としても使用されました。



(上・表紙) 能登半島 輪島市にて
(左) 能登半島 七尾市にて



■スペースクール SPACECOOL

放射冷却素材「SPACECOOL」は、様々な分野で採用されています。



フィルム以外に、ターポリン、帆布、膜材、マグネットシートを取り揃えており、用途に合わせた材料を選ぶことで、効率的な形状や施工方法を選択できます。

当社営業担当が、用途やご使用方法に適した製品を提案させていただきますので、ぜひご相談ください。



<用途例> 溶剤タンクカバー



<用途例> ユニットハウス シェード



<用途例> ガスボンベ カバー



<新製品情報> 配管カバー

ガス管や水道管などの配管へ簡単に脱着できます。夏場の太陽光による配管の温度上昇を緩やかにし、カバーなしに比べて配管内の気体や液体を低温に保つことが可能です。

■LEDビジョン 施工事例



製品課では、サイン、LEDビジョン、テント倉庫などの設計・構造計算、製作・施工、現場管理、各種申請業務、メンテナンス等を行っています。

リアリティの高い3Dコンテンツを映し出すことが可能なLEDビジョンの設置工事を行いました。

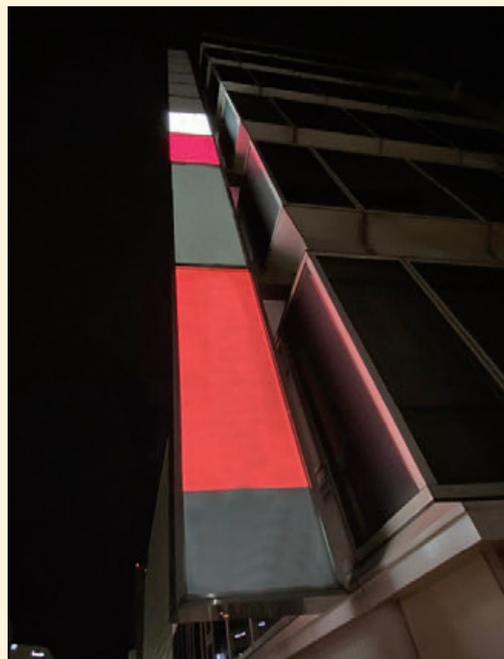
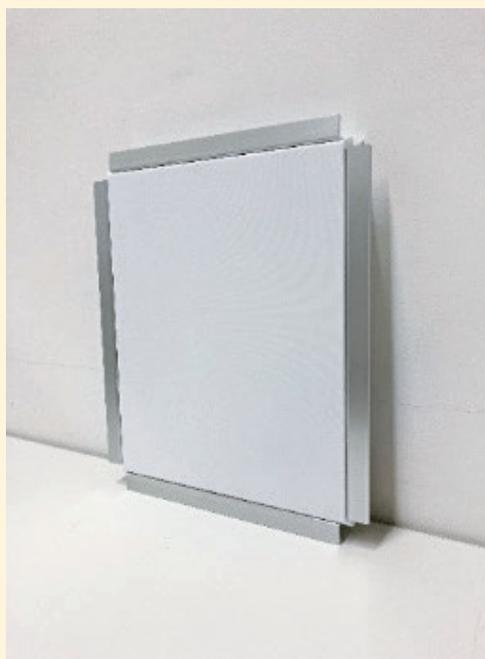


■FFシート用 展張金具（新商品）



FFシート袖看板に最適な展張金具を販売しました。

FFシートを展張金具で板状にすることでアクリル板面と同じように取り付けすることができます。防火地域内の高さ3mを超える看板は建築基準法で不燃材を使用することが義務付けられており、アクリル板を不燃FFシートに交換して違法看板の適法化にご活用いただいています。



■ アップサイクル商品の企画・販売



端材や廃棄反、廃液等を利用した商品企画及び販売を行っています。
 DtoCブランドとして、素材のビビットな色合いや防水性を活かしたデザインが特徴の『DIGREAL UPCYCLED COLLECTION』を立ち上げました。
 自社ECサイトでの販売を行っています。



■ アップサイクル商品の即売会



「第15回大津ジャズフェスティバル」と「eco FESTIVAL」に出店し、即売会を行いました。
 多数の皆様にご来場いただき、アップサイクル商品に興味を持っていただけました。今後も出店し、アップサイクル商品のPRを行っていきます。

大津ジャズフェスティバル 即売会の風景



ecoFESTIVAL (鶴見緑地公園) 即売会の風景



品質について

品質方針

福井工場は、全員の責任と役割を明確にし、お客様の満足度向上に努める。

福井工場は、法令を遵守し、社会的規範となる。

福井工場は、設定した品質目標を達成させ、かつ継続的に改善する。

福井工場は、品質マネジメントシステムの有効性を定期的に見直す。

改定 2013年12月

品質体制

福井工場では、当社製品を安心してご使用いただける様、安全性、製品品質向上、生産向上のために、班長を中心にグループとなり、積極的に活動に取り組んでいます。

安全性の向上



ゼロ災

- 安全パトロール
- リスクアセスメント
- KY活動

製品品質の向上



小集団活動

- 加工条件の改訂
- 作業手順書の見直し
- 工程検査の徹底

生産性の向上



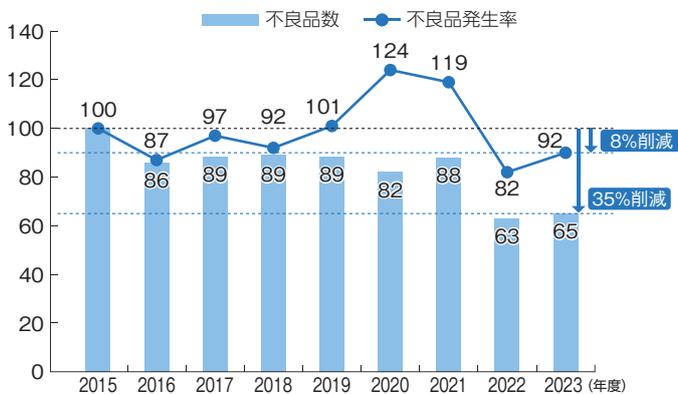
5Sの推進

- 作業環境の改善
- 定期的な設備点検・清掃
- 衛生面向上からの不良撲滅



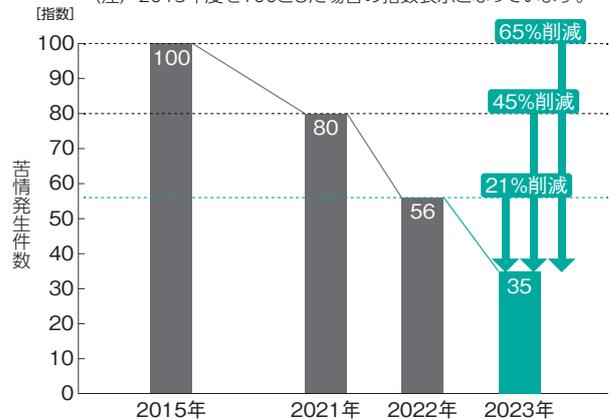
不良品発生件数推移

(注) 2015年度を100とした場合の指数表示となっています。



苦情発生件数推移

(注) 2015年度を100とした場合の指数表示となっています。



2023年度の不良品発生件数、苦情発生件数はともに減少傾向で推移



環境方針

当社は、地球環境と自然保全に努め、より安全な製品を提供し続けて『環境のカンボウ』を目指します。

『環境基本方針』

当社は産業資材、工業資材、生活資材及びその他の樹脂加工繊維製品の生産を中心とした企業活動において、環境負荷の低減を目指し、以下の方針に則って行動します。

1. 当社は、地域社会と協調し、対話を大切にし、環境管理活動を通じて社会に貢献します。
2. 当社の事業活動において、省資源、廃棄物の削減、環境負荷物質の管理を行い、汚染の予防を含めた、より良い環境の維持、向上に取り組みます。
3. 定期的な内部環境監査の実施により、環境管理活動の実施状況と結果を確認し、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
4. 当社の事業活動に関する環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守します。
5. 当社の事業活動にかかわる環境側面について、環境目的及び目標を設定します。また、環境目的及び目標は、環境方針と共に、年一回見直しを行います。
6. 環境方針は、環境方針書として文書化し、環境マネジメントシステムにより実行、維持します。
7. 環境方針は、全従業員に周知認識し、方針に則って行動するように、全従業員に対する教育、訓練を実施します。

本環境方針は、社外からの要求、その他必要に応じて公表します。

改定 2008年4月1日

事業活動における環境負荷(福井工場)

当社では、事業活動におけるエネルギー・資源の使用量 (INPUT) と環境への排出量・廃棄物量 (OUTPUT) を正確に把握することにより、総合的に環境負荷の低減に努めています。



環境負荷低減製品開発への取り組み

近年、お客様から環境配慮の要望が増えています。環境推進地域である欧州において様々な化学物質の規制が進められている中、材料選定の見直しや、バイオマス素材の使用など、グリーンな製品設計を進めています。既存製品に関しても、長寿命化によって少しでも廃棄物を減らすことができるように、改善・改良を行っています。

今後もカンボウプラスでは、環境負荷を低減するための製品開発に取り組んでいきます。

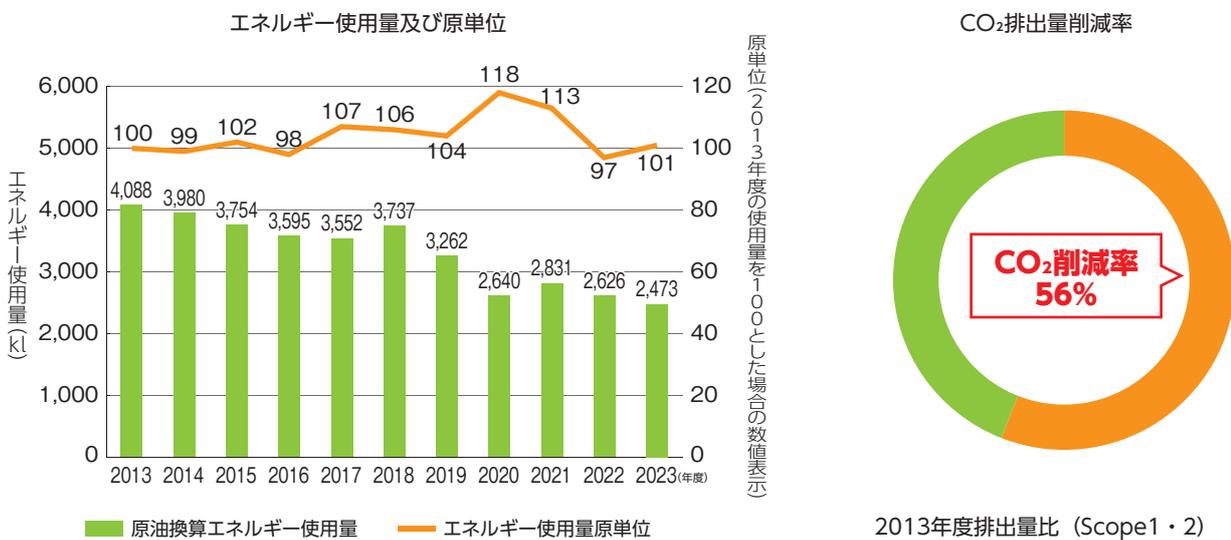


エネルギー消費量とCO₂排出量(福井工場)

昨年度は工場内事務所建屋2棟のLED化を実施しました。福井工場の蛍光灯のLED化は90%を超えました。また蒸気設備関係では蒸気使用量が増加する冬季前にスチームトラップの点検、交換を実施しました。また生産数量は上期ではほぼ計画通りでしたが、下期は生産調整を実施しました。そのため2022年度に比べて生産量(㎡数)は約9.6%減となりました。また2023年8月から工場電力を100%カーボンフリー電力に変更いたしました。

エネルギー消費原単位では、前年より約4.2%増加、CO₂排出量原単位につきましては、約22%の削減となりました。

引き続き照明のLED化、保温材の補修、スチームトラップの状態監視を継続実施いたします。また、省エネ設備への更新、再生可能エネルギー、燃料転換、の調査・研究についても引き続き進めます。



地球温暖化防止への取り組み

地球環境を考える上で、企業のCO₂排出量削減への取り組みは非常に重要な役割を担っています。CO₂排出量削減の取り組みとして、照明のLED化(水銀灯含む)・省エネ設備導入・カーボンフリー電力の活用・環境負荷低減商品の開発・クールビズ・ノーマイカーデーなどの取り組みを従業員一丸となって推進しています。



工場倉庫の水銀灯のLED化

工場内の186灯の水銀灯をLED照明へ変更しています。これにより年間121,705kWhの消費電力量を削減できました。また、蛍光灯照明のLED化も進めており、さらに消費電力量の削減を目指しています。

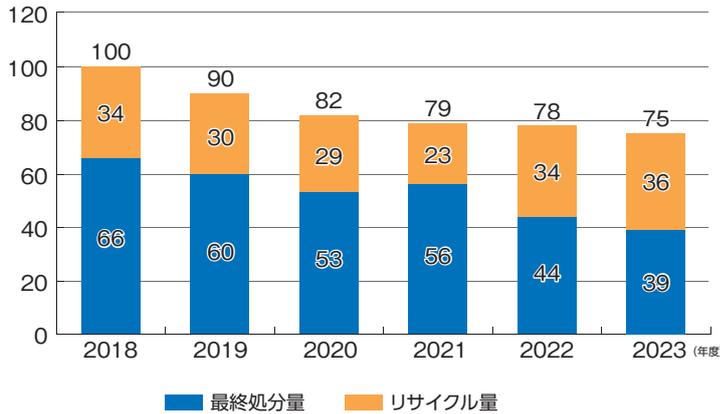


廃棄物削減への取り組み(福井工場)

昨年度より生産量が減少し、廃棄物の総量も減少しました。リサイクル・リユースへの取り組みの結果、リサイクル率が向上しました。今後も、再生が困難な廃棄物の削減と再生への取り組みを推進していきます。

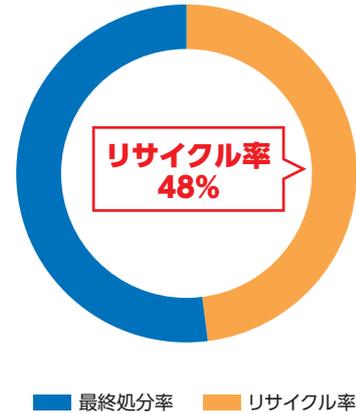
廃棄物・リサイクル量推移

(注) 2018年度を100とした場合の指数表示となっています。



2023年度リサイクル率

(注) リサイクル率にはサーマルリサイクルを含みます。



PRTR法への対応(福井工場)

PRTR制度では第一種指定化学物質の環境へ排出される量(排出量)及び対象物質を含む廃棄物が事業所外へ移動される量(移動量)について届け出ることになっています。

2023年度のPRTR対象物質の排出量及び移動量の届出合計量は、2020年度より3年連続半減させることができました。これは対象物質のひとつである可塑剤フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)の置き換えが進んだためです。

PRTR対象物質届出量推移





グリーン推進活動

2023年度もエコキャップ回収運動に参加しました。この活動はペットボトルキャップの回収を行い、特定非営利活動法人エコ・ワクチン協力会を通じて、プラスチックとして再利用することによって得た利益をワクチン購入代金に使用されます。今後も継続して活動を行っていきます。

2023年度は第14回ニチバン巻心ECOプロジェクトに参加しました。この活動は、使い終わった粘着テープの巻心を回収し、資源として再利用するエコ活動です。巻心がダンボールに再生されたり、地球保護環境活動のために、フィリピンのネグロス島およびボホール島でのマングローブの植林活動やメンテナンス、日本国内の森の植林活動に役立てられます。本年度は、福井工場だけではなく、大阪本社、東京支店、カンボウキャンバス・カッティング・サービス株式会社も含めたグループ全体で取り組み、段ボールケース56箱分の巻心を送ることができました。来年度も参加を検討中です。



当社は事業所周辺の美化活動を継続的に実施しています。本社では、2024年2月に「大阪マラソン“クリーンUP”作戦」に参加し、空き缶や吸い殻などのゴミ拾いを行いました。



本社



福井工場



東京支店



文化ファッション大学院大学との取り組み

当社では昨年に引き続き文化ファッション大学院大学の院生と共同で端材等を利用した商品企画を行いました。1年次生には小物雑貨、2年次生は院生自ら投票で決めた「レインウェア」をテーマに制作していただきました。バッグが変形したり、2WAYになっていたり創意工夫溢れる作品が数多くあり、3Dモーションを利用した着用動画などが盛り込まれたプレゼンはどれも甲乙つけがたい仕上がりでしたが、最も優れた作品には表彰もさせていただきました。当社の専門分野とは違ったファッションを学ぶ学生方に産業資材を知っていただき、工場廃棄の現状を知っていただけたことで社会貢献や環境保護をより身近に感じていただけました。



従業員への教育

人材育成を経営重要課題と考え、職種別研修、階層別研修、自己啓発のための通信教育支援などを実施しています。また、定額制社外研修制度を設け、社外ビジネスセミナーへの参加も実施しています。

2023年度もWEBシステムを活用した社内研修やオンライン英会話を継続して実施しています。今後も従業員教育の充実を図り、社会から愛され信頼される企業であり続けるため、従業員の能力向上に努めていきます。



▲2023年4月 新入社員研修



▲2023年7月 安全講話



▲2024年2月 昇級者研修



▲2024年2月 安全研修



公的資格取得の推進

2012年度に従業員の能力向上と自己啓発を促進するため、公的資格支援規定を策定し、様々な資格に対して合格お祝い金を支給する等、従業員が業務に主体性をもって遂行できるよう各種公的資格の取得を進めています。

2023年度は本社、東京支店、福井工場の従業員が42件の資格を取得しました。

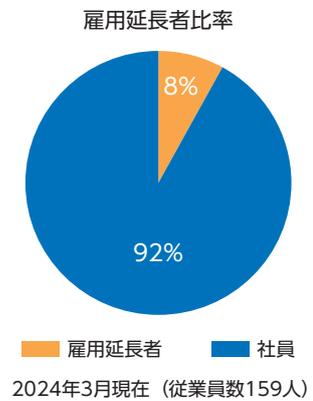
■主な公的資格取得者数

資格名称	取得者数(人)
一級建築施工管理技士	1
公害防止管理者 大気3種	1
一級ボイラー技士	1
危険物取扱者乙4種	1
QC検定3級	7

雇用

2006年度に60歳で定年を迎えた従業員に対して再雇用制度を創設し、雇用延長者の知識やキャリアを生かして若年者従業員の育成などを行っています。また、2012年度には年金不支給期間への対応として、65歳までの雇用延長制度を確立し、2013年度には雇用延長者に評価制度を導入し、仕事への意欲を向上させるため、シニア制度規定を制定しました。

2023年度は定年退職者2名の内、2名全員が雇用延長しました。

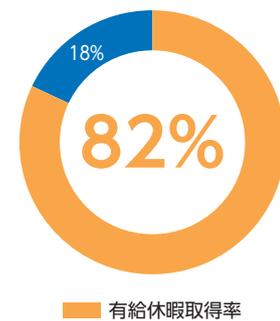


ワークライフバランス

仕事と生活の調和(ワークライフバランス)を目的に、ノー残業デー、最終退出時間の設定と誕生日有給休暇、一斉有給休暇の取得を促進し、総労働時間の削減と長時間労働の撲滅に取り組んでいます。



2023年度 従業員年次有給休暇取得率



緊急事態への備え

2016年4月1日より「事業継続マネジメントシステム (BCMS)」の運用が始まり、BCMSに関する教育・研修を継続的に実施しています。2018年12月には、震災や台風などの自然災害、テロなどの人為災害における非常時の従業員の安否確認のため、警備会社の「安否確認サービス」を導入しました。2024年1月に発生した能登半島地震では「事業継続計画 (BCP)」が発動し、安否確認システムで福井工場の従業員全員の無事を確認することができました。これからもより迅速に従業員の安否が確認できるように日頃からの訓練等を実施しています。

労働安全衛生

当社では、安全衛生パトロールや労使合同で開催する安全衛生委員会を通じて、全従業員が安全で働きやすく、健康に配慮した職場の確保に努めています。



福井工場 安全衛生パトロールの様子

労働災害発生件数

2023年度も前年度に続き、労災ゼロを達成しました。福井工場では労災ゼロを目指し、リスクアセスメントや安全教育のさらなる推進、安全衛生コンサルタントによるパトロール・指導など安全対策を一層推し進めていきます。

休業労働災害発生件数



内部通報制度

当社は違法行為の防止、早期発見及び是正を図るため「カンボウ・ヘルプライン」と呼ばれる内部通報制度を設けています。

2024年1月には、全従業員を対象としたリスク・コンプライアンス研修を実施しました。今後も内部情報提供者の保護とともにコンプライアンスの強化を図り、ハラスメント教育にも努めていきます。

「健康経営優良法人2024」(中小規模法人部門)認定取得

2024年3月、当社は経済産業省が公表する健康経営優良法人認定制度におきまして中小規模法人部門で「健康経営優良法人2024」の認定を取得しました。

健康経営優良法人は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。





カンボウプラス株式会社

〒541-0054

大阪府中央区南本町1-8-14 JRE堺筋本町ビル

TEL 06-6262-1277 FAX 06-6262-9419

URL <https://kanbo.co.jp/>